

田山實彌たやま登

たやま

修史家。

元治二年二月十一日上野國館林城下生れ、

明治四十年十一月九日歿（八五—九〇七）。筆名田山實。田山花枝の兄。

上京して中村峰南の門下塾に入る。明治十九年岡谷おかのや繁實しげじの紹介で修史

菊出任も、二十四年病廢止む伴ひ失職。二十八年帝國大學文科大學史

料編纂掛となりたが、二十五年自身助手として編纂に關はりた。岡谷著

『皇朝編年史』全六卷（第一卷・明治二十三年十一月十五日電澤文庫

・敬業社）が史料編纂所編『大日本編年史』の剽竊として帝大總長山

川健次郎から告訴せられたたの求職（のち告訴取下げ）。

遺著『理れ木一岡谷達磨介事蹟』（明治四十一年十一月十八日南條新

太郎刊）。